

HermanMiller
Augment Ratio®





柔軟性を備え、オプションも豊富な
オーグメントレシオはあらゆるワークスタイルに対応

未来のオフィスを実現する柔軟性

次世代のオーグメントレシオは、変化に備える上下昇降可能なワークステーションです。

分散型ワークというニューノーマルに対し、私たちが出した答えがオーグメントレシオでした。働き方がより柔軟になったことで、オフィスの役割も変化しています。この変化にダイナミックに対応する未来型のワークプレイスが必要で、訪問者の数や組織のニーズに応じて、即座に対応できるものでなくてはなりません。

そこにふさわしい家具は、アジャイルなビジネスのための基盤となります。何か起きたら、その変化にすぐに応じられます。

適切な家具は、使う人と同じくらいの柔軟さ、ビジネスに欠かせない俊敏さを備えた家具です。次世代のオーグメントレシオが生み出す大きな効果も、まさにそこにあります。



デザインの進化

オーグメントレシオは、オフィスを思いのままに作り上げることができます。進化したこのシットトゥスタンドデスクのソリューションには、様々なオプションが揃っています。これからは、ビジネスのニーズや使う人の要望に合わせて、ワーカースペースの基盤を作ることができます。



パックトゥバックスクリーン

大きな構成で固定したスクリーン



お客様の声に耳を傾ける

ハーマンミラーは、時代を超えて価値を高め続けるデザインを創造することに取り組んでいます。人々の暮らしや仕事の質をより良くするデザインを、さらに改良できないか検討するのもそのためです。

最新の人間工学を研究し、人が働く時の体の動きの変化をさらに理解します。試作を重ねてテストを繰り返します。そしてお客様に製品の使い心地や改善すべき点を尋ねます。

オーゲメントレシオでも、これらすべてを行い、何よりもお客様の声に耳を傾けました。

その成果が、ニーズの変化や時代の変化に応じた、人とビジネスを支えるデスクなのです。上下昇降が可能なこのワークステーションは、その汎用性の高さから、自宅やオフィスで現代的なワークプレイスを実現するのに最も適したツールです。



すっきりした構造で、クリアな視界が確保できます

選択肢がある強み

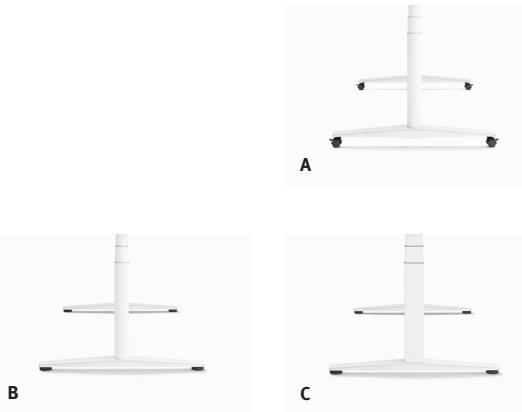
次世代のオーグメントレシオは、選択する自由があります。ラウンドレッグはモダンなオフィスに最適な軽やかさを、レクタンギュラーレッグは構造的で建築的な魅力をもたらします。選び方は、あなた次第。

さらに、新しいモビリティオプションを選択すれば、集中が必要な仕事やコラボレーション、ミーティングなどその時々の状況に合わせて簡単に移動できます。キャスターはシングルデスク向けで、レクタンギュラーレッグとラウンドレッグのいずれにも付けられます。

マルチデスクセッティングの場合、ラウンドレッグのオーグメントレシオはキャスターが付きますが、レクタンギュラーレッグの場合はグライズとなります。

オーグメントレシオのシンプルで無駄のないフォルムは、どのような構成にもぴったりです。横並びにしたり、制限なく繋げて構成したり、単独で置くことも可能です。

- A キャスターはシングルデスクの移動をサポートします
- B ラウンドレッグは軽やかな雰囲気をつくります
- C レクタンギュラーレッグはオーグメントレシオに建築的な魅力を与えます



パーソナルスペース

テーブルでプライバシーを確保するのが、スクリーンのオプションです。クロスピームの上部に取り付けられ、すっきりとした見た目と効率的なサポートを果たしてくれるこの新しいスクリーンは、汎用性を踏まえてデザインされていて、どのようなワークプレイスの構成にも対応可能です。

スタンドアローンのセッティングでは、スクリーンの有無を選べます。列になったセッティングやグループセッティングの場合、スクリーンを上下させることでプライバシーが確保され、心理的に安心感が得られます。バケットウーバックタイプの場合、スクリーンは、2台のデスクの間で同じ位置のまま固定されます。



モディティスクリーン



ワークトップ取付型スクリーン



デスクアップスクリーン



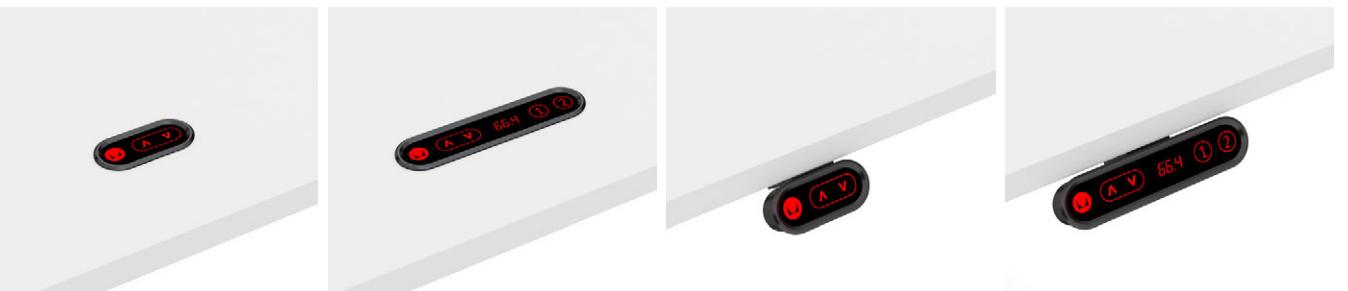


思いのままに働く

未来のワークプレイスを支えていくのは、ユーザーが力を存分に發揮できる家具です。だからこそ、いつ、どのように動くかをユーザーが選べるようになっているのです。オーゲメントレシオの直感的に操作できる電動コントローラーで、デスクのポジションをすぐ変更できます。

さらにオーゲメントレシオには、固定席用にプリセットできる機能が搭載されています。設定を保存すれば、いつでも準備は万端です。席に戻れば、ベストな姿勢が取れるようにオーゲメントレシオが簡単に調節してくれます。

さらに、座った姿勢から立つ姿勢に動くためのコントローラーの位置も選べます。コントローラーはデスク面に埋め込むことも、前面のエッジに取り付けることもできます。



デスク面に埋め込むか
エッジに取り付けるかを選べます

仕事のウェルビーイングをサポート

研究によると、デスクの前に1日に3~8時間座る場合、座り続ける不自然な生活が続くことになり、糖尿病、肥満、心臓病、さらには特定のガンにかかるリスクが高まります。

上下昇降が可能な家具をワークスペースに取り入れれば、ある程度立った状態で仕事を進めるようになるため、座っている時間を最大60%減らすことができます。シットトゥスタンダードeskを使えば、血流を促進し、余分なカロリーを消費し、背骨が健康的な状態にサポートされます。



オーゲンメントレシオは好みの高さに
すぐに調節可能

調査によると、座った状態と立った状態とを一日を通して定期的に繰り返すことで、最適な健康の効果が得られることが分かっています。立ったり座ったりをうまく繰り返せば、気分も良くなります。さらに気分が良くなれば、自分にとっても組織にとってもビジネスでより良い成果が得られるようになるでしょう。

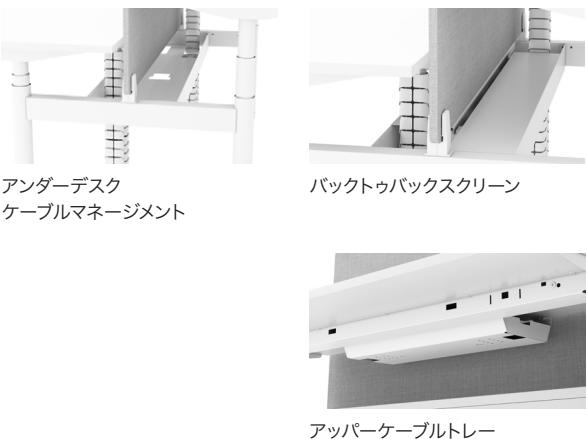


必要なところにパワーを

ワークスペースが整頓され、すっきりとした状態であれば、仕事もはかどります。十分なパフォーマンスを引き出すには、すっきりとした視界で日々の業務を円滑に進められるような、シンプルでシームレスなモダンな家具が必要です。

新しく軽いラウンドレッグオプションを導入しただけではなく、デスク下の構造の無駄をなくし、使いやすさとすっきりとした見た目を実現しました。オーグメントレシオは、自社で設計したアンビリカルコードで、配線を目立たないように、効率的にまとめられるようにしました。

また、ケーブルトレイの容量を改良し、必要な場所でより多くの電源を供給できるようにしています。下側のケーブルトレイには直感的にアクセスできるヒンジ式のフタが取り付けられ、すぐに簡単に利用できます。上部のケーブルトレイの両端を閉じることでケーブルマネージメントを高め、すっきりとした見た目を実現します。

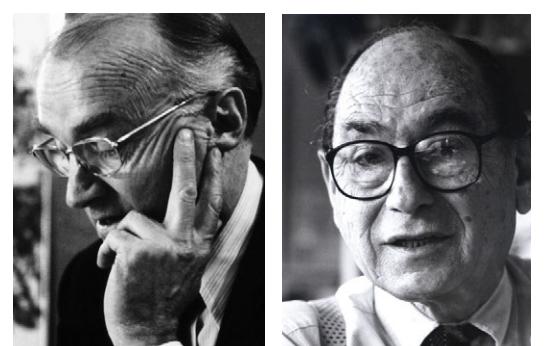


オーグメントレシオの最新情報については、
hermanmiller.com/ja_jp/augment-ratioをご覧ください。

デザインの遺産:受け継がれるストーリー

ハーマンミラーは、様々な姿勢をサポートする重要性、そして働いている間の健康的な動きを促進する重要性をずっと信じてきました。座って仕事をすることに代わる案は、ハーマンミラーのデザインストーリーに織り込まれています。1960年代、ロバート・プロプストとジョージ・ネルソンは、働く姿勢の新しいコンセプトを提唱しました。

世界初のオープンプランオフィスであるアクションオフィスをつくったプロプストは、ツールとチェアを組み合わせたデザインを「パーク(止まり木)」と呼びました。1947年にデザインディレクターに任命されたネルソンは、立って仕事をすることを好み、他の人もそうだろうと考えました。こうして彼は、アクションオフィスのために、ロールトップのスタンディングデスクをデザインしました。二人とも、「人間工学」という言葉が世の中に広まり理解されるようずっと前に、立って仕事をすることのベネフィットに気づいていたのです。

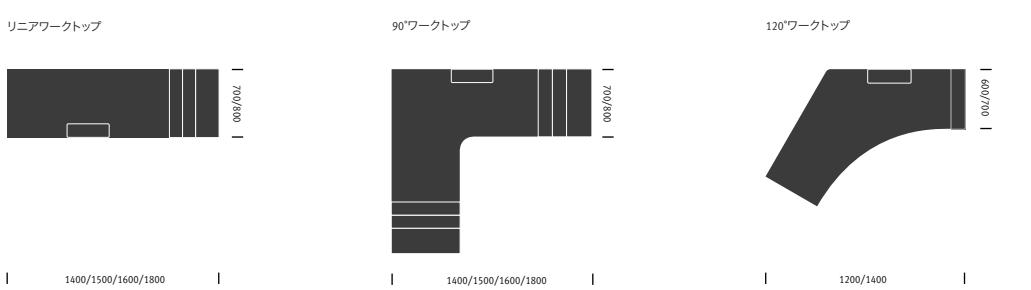


ロバート・プロプスト

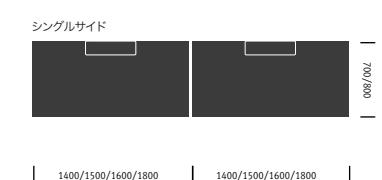
ジョージ・ネルソン

コンフィグレーション

スタンダードワークトップ



ベンチング



レッグ/ベース

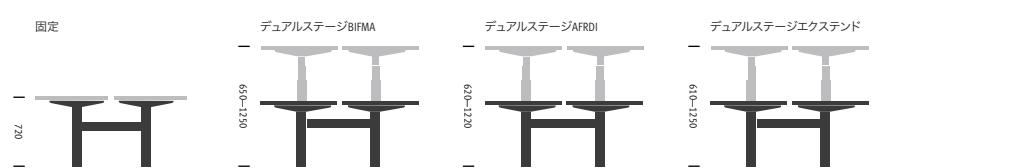
フリースタンドイング



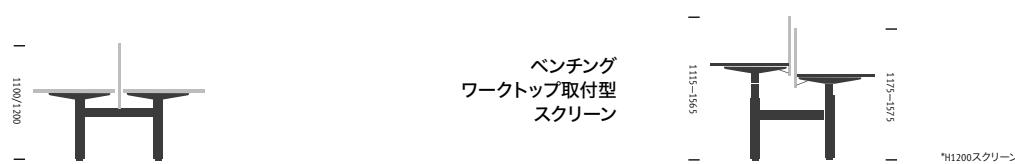
フリースタンドイング デスクアップスクリーン



ベンチング

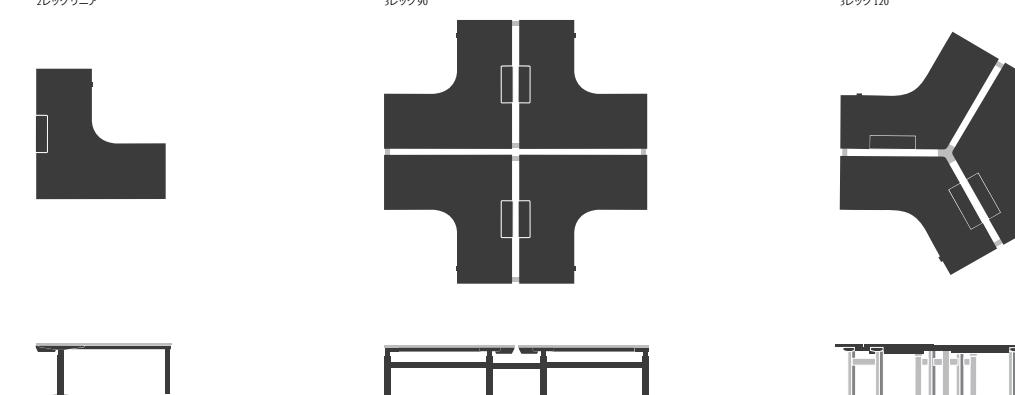


ベンチング デスクアップスクリーン

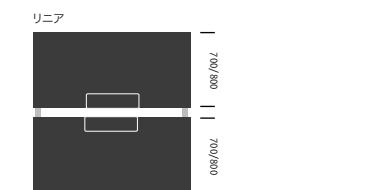


コンビネーション

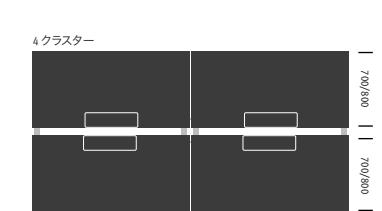
フリースタンドイング



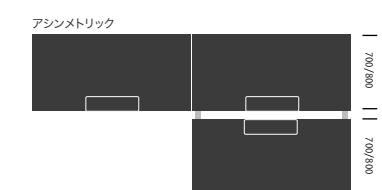
リニア



1400/1500/1600/1800



1400/1500/1600/1800 | 1400/1500/1600/1800



1400/1500/1600/1800 | 1400/1500/1600/1800



詳細は、hermanmiller.com/ja_jpをご覧ください。